

【令和2年度】

# 第3回 公民館運営審議会

日時： 令和2年8月25日（火）  
午後2時～

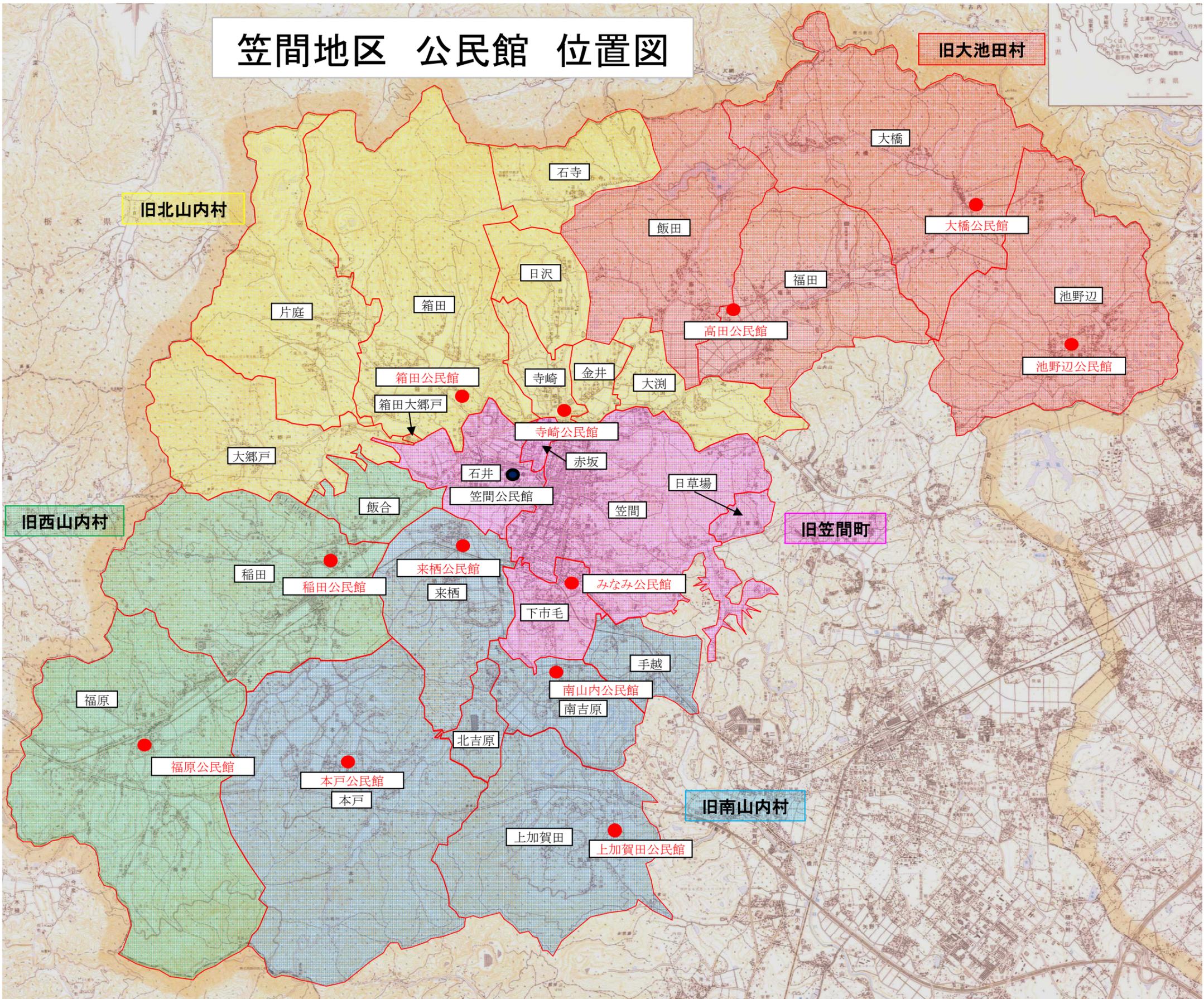
場所： 岩間公民館 3階 視聴覚室

## 会 議 次 第

1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 議 題  
(1) 地区公民館の今後の在り方について  
(地区公民館の施設数について)
4. その他
5. 閉 会

笠間市立公民館

# 笠間地区 公民館 位置図



**旧笠間町**  
 笠間公民館(本館)  
 地区公民館 1館  
 みなみ公民館  
 集会所等 13箇所

**旧大池田村**  
 地区公民館 3館  
 大橋公民館  
 池野辺公民館  
 高田公民館  
 集会所等 7箇所

**旧北山内村**  
 地区公民館 2館  
 箱田公民館  
 寺崎公民館  
 集会所等 13箇所

**旧南山内村**  
 地区公民館 4館  
 上山賀田公民館  
 南山内公民館  
 来栖公民館  
 本戸公民館  
 集会所等 13箇所

**旧西山内村**  
 地区公民館 2館  
 稲田公民館  
 福原公民館  
 集会所等 6箇所

大字別人口統計

令和2年3月大字別人口統計

令和2年3月末日現在

地区公民館名	大字	字別人口・世帯数				公民館別人口・世帯数				旧町村別計
		人口			世帯数	人口			世帯数	
		男	女	総数		男	女	総数		
大橋公民館	大橋	333	334	667	285	333	334	667	285	旧大池田村
池野辺公民館	池野辺	306	282	588	253	306	282	588	253	
高田公民館	福田	255	299	554	236	444	502	946	376	2,201
	飯田	189	203	392	140					
寺崎公民館	寺崎	201	197	398	170	741	728	1,469	635	旧北山内村
	日沢	51	56	107	39					
	石寺	46	43	89	38					
	金井	157	147	304	121					
	大渕	286	285	571	267					
箱田公民館	大郷戸	175	174	349	140	988	981	1,969	774	3,438
	箱田大郷戸	12	12	24	11					
	片庭	235	239	474	184					
	箱田	566	556	1,122	439					
みなみ公民館	笠間	3,143	3,342	6,485	2,833	5,625	6,003	11,628	5,107	旧笠間町
	石井	1,241	1,320	2,561	1,147					
	赤坂	284	290	574	238					
	下市毛	888	988	1,876	840					
	日草場	69	63	132	49					
来栖公民館	来栖	562	596	1,158	467	562	596	1,158	467	旧南山内村
南山内公民館	北吉原	57	67	124	49	382	392	774	302	
	南吉原	173	187	360	140					
	手越	152	138	290	113					
上加賀田公民館	上加賀田	235	255	490	198	235	255	490	198	3,500
本戸公民館	本戸	543	535	1,078	420	543	535	1,078	420	
稲田公民館	飯合	164	166	330	128	1,129	1,167	2,296	968	旧西山内村
	稲田	965	1,001	1,966	840					
福原公民館	福原	916	933	1,849	697	916	933	1,849	697	4,145
笠間地区計		12,204	12,708	24,912	10,482	12,204	12,708	24,912	10,482	

(参考)	笠間地区	友部地区	岩間地区	合計
H18.3現在	29,827	35,678	16,512	82,017
R2.3現在	24,912	35,661	14,743	75,316
	-16.48%	-0.05%	-10.71%	-8.17%

## 公民館施設別面積一覧表

No.	旧町村名	施設名	延床面積 (㎡)	住所	建築年度 (年度)	経過年数	構造
1	旧大池田村	大橋公民館	942.3	大橋1543	1968	52	鉄筋コンクリート造
2	旧大池田村	池野辺公民館	257.1	池野辺1285	1983	37	木造(一部軽量鉄骨造)
3	旧大池田村	高田公民館	190.4	福田3010-1	1989	31	木造
4	旧北山内村	寺崎公民館	187.1	寺崎135	1984	36	木造
5	旧北山内村	箱田公民館	186.3	箱田1037	1984	36	木造
6	旧笠間町	みなみ公民館	291.4	下市毛591-1	2001	19	木造
7	旧南山内村	来栖公民館	205.6	来栖1045	1986	34	木造
8	旧南山内村	南山内公民館	207.9	南吉原181	1985	35	木造
9	旧南山内村	上加賀田公民館	499.5	上加賀田329-1	1975	45	木造
10	旧南山内村	本戸公民館	233.5	本戸3154	1982	38	木造
11	旧西山内村	稲田公民館	261.3	稲田3378-1	2012	8	木造
12	旧西山内村	福原公民館	214.9	福原3602-2	1980	40	木造
合計			3,677.4				

地区公民館総床面積の20%相当 = 735.48㎡

笠間公民館	3,115.90	石井2068-1	1982	38	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
友部公民館	3,054.70	中央3-3-6	1977	43	鉄筋コンクリート造
岩間公民館	1,307.00	下郷5140	1995	25	鉄筋コンクリート造
合計	7,477.60				

公民館全体床面積計

11,154.98 公民館全体総床面積の20%相当 = 2231.00㎡

⇒地区公民館の約60%に相当

# 令和元年度 地区公民館利用団体集計表

令和元年4月1日～令和2年3月31日

公民館名		項目	青少年団体	女性団体	成人団体	高齢者団体	その他	合計	個人利用者数
<b>みなみ公民館</b>		団体数	9	15	34	9	2	69	0
開館日数(日)	356	回数	110	288	287	254	21	960	0
開館率(%)	97.3	利用者数	2,888	1,516	3,194	3,528	677	11,803	0
<b>大橋公民館</b>		団体数	2	5	5	4	18	34	0
開館日数(日)	190	回数	2	68	16	82	22	190	0
開館率(%)	51.9	利用者数	48	314	206	1213	743	2,524	0
<b>池野辺公民館</b>		団体数	1	3	20	1	3	28	0
開館日数(日)	158	回数	5	99	45	33	5	187	0
開館率(%)	43.2	利用者数	118	861	742	473	285	2,479	0
<b>高田公民館</b>		団体数	0	2	5	1	1	9	0
開館日数(日)	195	回数	0	15	178	1	1	195	0
開館率(%)	53.3	利用者数	0	110	2097	40	120	2,367	0
<b>箱田公民館</b>		団体数	4	5	8	2	8	27	0
開館日数(日)	178	回数	30	41	81	53	14	219	0
開館率(%)	48.6	利用者数	228	525	1179	875	338	3,145	0
<b>寺崎公民館</b>		団体数	2	9	6	1	3	21	0
開館日数(日)	219	回数	2	47	162	5	3	219	0
開館率(%)	59.8	利用者数	10	459	1319	70	421	2,279	0
<b>本戸公民館</b>		団体数	2	1	5	2	12	22	0
開館日数(日)	171	回数	2	10	52	112	44	220	0
開館率(%)	46.7	利用者数	17	59	411	1174	1029	2,690	0
<b>来栖公民館</b>		団体数	3	3	11	1	5	23	0
開館日数(日)	157	回数	12	16	127	1	8	164	0
開館率(%)	42.9	利用者数	240	117	1683	62	379	2,481	0
<b>南山内公民館</b>		団体数	2	2	3	1	4	12	0
開館日数(日)	110	回数	3	94	3	1	9	110	0
開館率(%)	30.1	利用者数	35	1,085	35	90	493	1,738	0
<b>上加賀田公民館</b>		団体数	2	3	6	1	9	21	0
開館日数(日)	120	回数	9	25	75	2	26	137	0
開館率(%)	32.8	利用者数	250	260	1355	40	390	2,295	0
<b>稲田公民館</b>		団体数	1	8	14	3	9	35	0
開館日数(日)	355	回数	1	95	227	59	28	410	0
開館率(%)	97.0	利用者数	36	466	1975	1521	734	4,732	0
<b>福原公民館</b>		団体数	1	3	7	1	6	18	1
開館日数(日)	106	回数	16	36	94	1	10	157	1
開館率(%)	29.0	利用者数	190	393	2245	3	321	3,152	1
<b>12館平均</b>							団体数	319	1
開館日数(日)	192.9						回数	3,168	1
開館率(%)	52.7						利用者数	41,685	1
						<b>総合計</b>			

## 1. 背景

本市では、人口の増加や行政需要の拡大などを背景に、昭和40年代から50年代に学校・公民館等の多くの公共施設を整備してきました。これらの公共施設は、経年劣化が見られ、今後維持管理していく上で、大きな財政負担になることが予想されています。

このような中、市の公共施設の機能向上及び財政負担の平準化等に資するため、公共施設の長寿命化や統廃合等を推進する指針となる「笠間市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

## 2. 目的

### ① 対症療法的維持管理から予防保全的維持管理への転換

予防保全的維持管理の考え方にに基づき、長寿命化を推進し適切な維持管理を図ります。

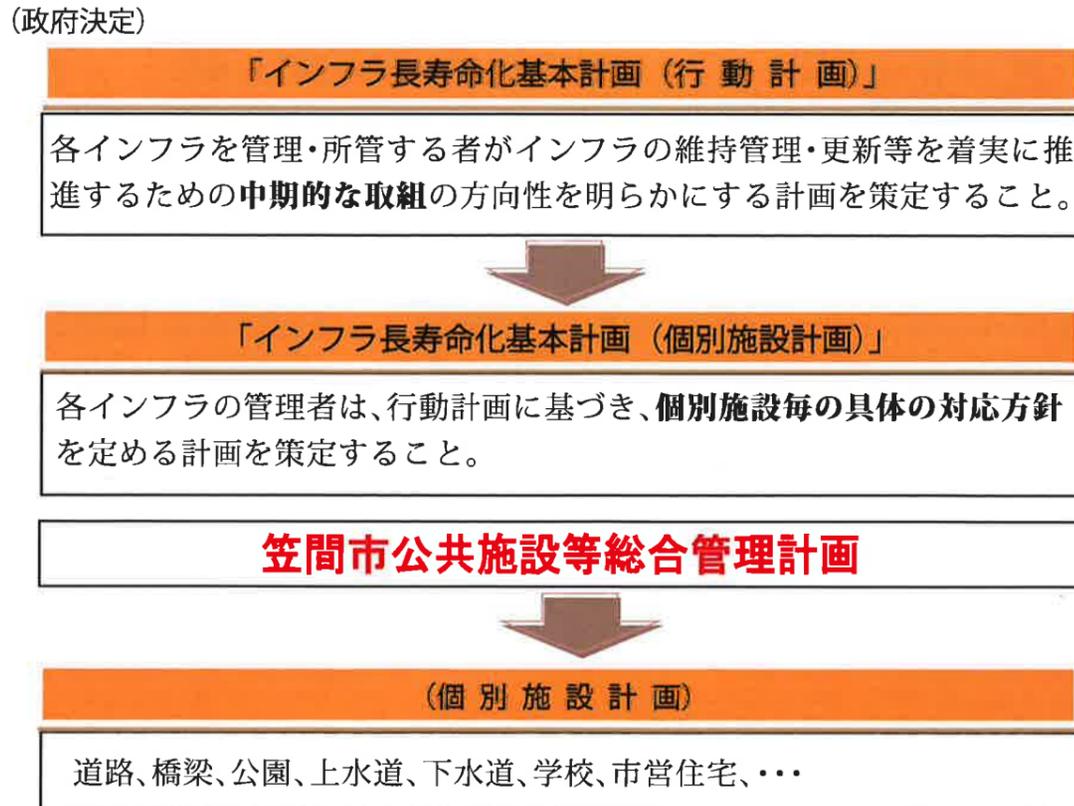
### ② 財政負担の平準化

今後、集中する公共施設の大規模改修・更新等の時期を分散することにより、財政負担の平準化を図ります。

### ③ 将来更新費の把握

公共施設の適切な更新時期を検討するために、公共施設の維持管理・更新に要する費用を把握します。

## 3. 計画の位置づけ

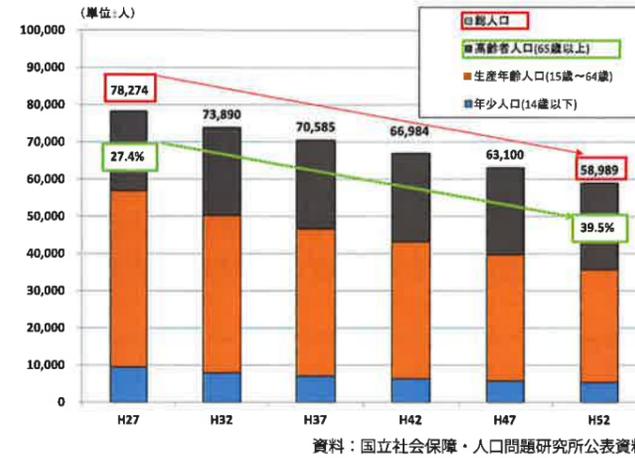


## 4. 人口と財源

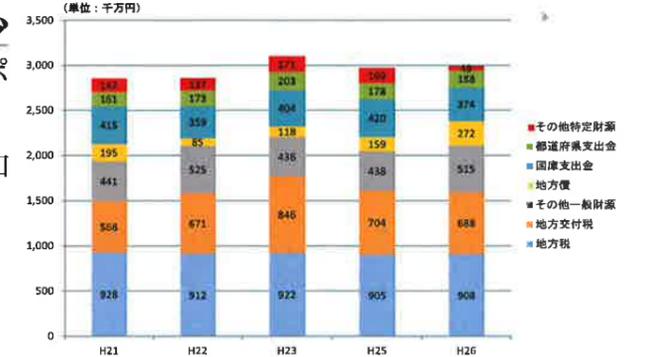
本市の人口は平成27年から平成52年で**24.6%減少**し、高齢化率は27.4%から39.5%に増加する(12.1ポイント増)と予測されています。

歳出は、少子高齢化の進行に伴い、義務的経費は増加し投資的経費は減少という傾向にあります。

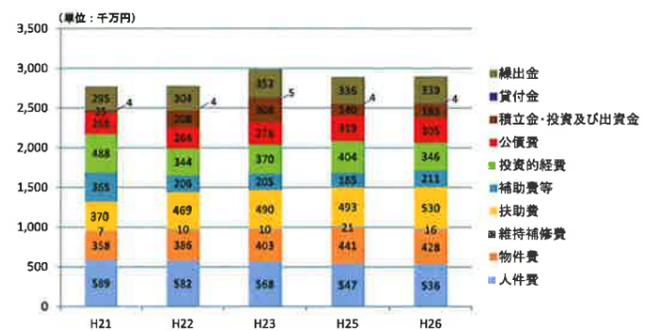
### 総人口の推移



### 歳入の状況

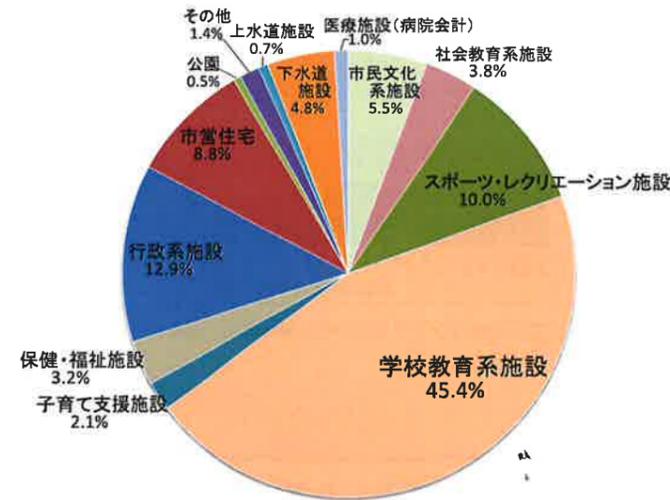


### 歳出の状況 (投資的経費の内訳)

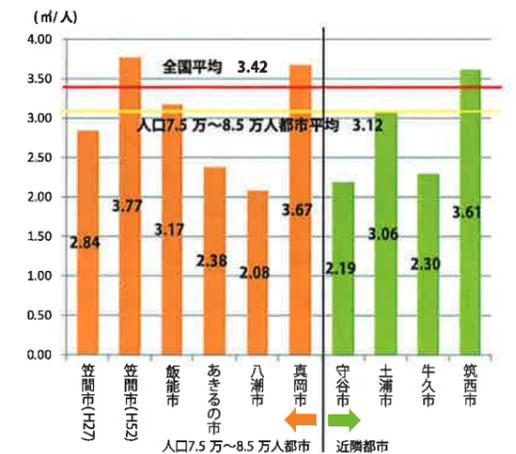


## 5. 総量の把握

### ① 施設用途別の建物延床面積の内訳 [公共建築物]



### ② 人口一人当たり公共施設延床面積 [公共建築物]



### ③ インフラ施設の総量

施設類系	総延長/総面積
道路	1,474.8km
橋梁	4.5km
公園施設	36.4 ha
上水道施設	849.4km
下水道施設	294.3km
農道	93.4km
林道	31.4km
集落排水施設	110.3km

### ① 施設用途別の建物延床面積の内訳:

本市が保有する公共建築物の内訳は学校教育施設が最も多いことがわかります。

### ② 人口一人当たり公共施設延床面積:

全国平均は3.42m<sup>2</sup>/人であり、人口7.5万~8.5万人都市平均は3.12m<sup>2</sup>/人であることから、現状では全国平均と同規模の都市平均より少ない状況です。

### ③ インフラ施設の整備状況:

整備年次のピークは昭和50年代から平成20年頃となっており、その後、平成27年現在までの新規での整備は減少しています。

## 6. 将来更新費用の縮減に向けたシナリオ検討 公共建築物とインフラ施設の将来更新費用

法定耐用年数により算定した結果を用いて公共建築物とインフラ施設の総事業費を重ね合わせると、今後40年間の総事業費は2,710.2億円で、年平均は67.8億円となります。過去5カ年(突出した値となる平成24年度は除く)の公共建築物と、インフラ施設に関する投資的経費の合計の年平均は44.2億円であり、23.6億円の財政不足が見込まれる計算となり、更新費用の縮減が必要となります。(図1)

そこで、次のような3つの対策を講じたシナリオで将来更新費用を再計算しました。

- ・インフラ施設の長寿命化(法定耐用年数の3割延命)
- ・公共建築物の総量削減(今後の人口減少と同等となる2割削減)
- ・対策時期の調整による予算平準化

このシナリオは、住民サービス面とコスト面の調整により、将来更新費用を投資的経費のバランスを図ろうとするものです。

このような対策を講じた結果、今後40年の総事業費は1,769.1億円で、年平均は44.2億円となります。その場合であっても、平成28~29年度、平成55~67年度にかけては、過去5カ年(突出した値となる平成24年度は除く)の公共建築物とインフラ施設に関する投資的経費の合計の年平均44.2億円を上回る結果となっています。(図2)

法定耐用年数通り

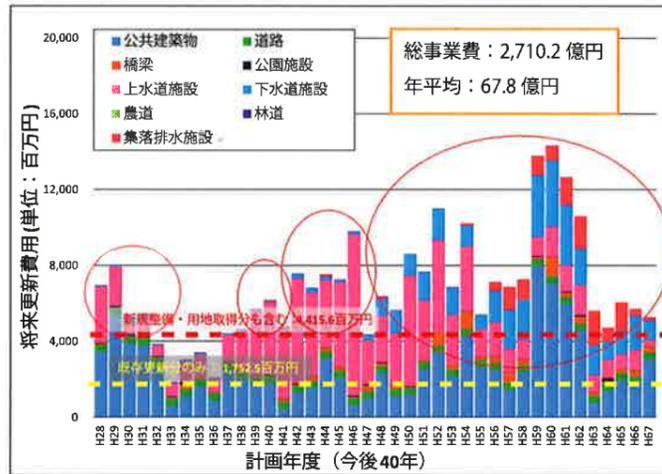


図1 公共建築物とインフラ施設の将来更新費用(法定耐用年数ベース)

対策実施後

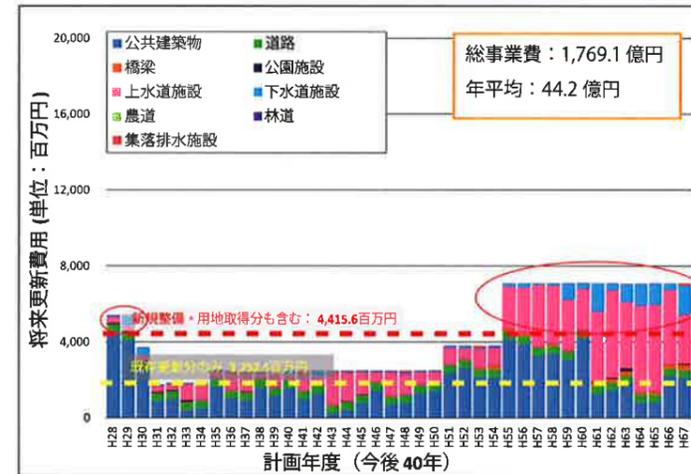


図2 公共建築物とインフラ施設の将来更新費用(長寿命化+総量削減+平準化)

## 7. 現状と課題の基本認識

- ・本市では平成18年に合併して以降、公共的施設の整備を行ってきましたが、合併算定替及び合併特例債の発行の終了や人口減少による人口構造の変化に伴う歳入悪化も見込まれます。
- ・これらは公共施設のサービス水準の低下を招き、市民生活への影響が生じることが懸念されます。
- ・したがって、公共施設の将来更新費用をより縮減することを一層推進しながら、公共施設の品質・供給量の低下を防止するため、公共施設等の点検、診断、維持修繕を適切な時期に適切な方法で実施することで施設の長寿命化を図ることが必要です。
- ・また、将来の人口や利用状況を予測し、公共施設等のサービス水準を見直しながら供給過多とならないようにしていくことが必要です。
- ・また、公共施設の管理を今までより効率的かつ効果的に実施することや低・未利用の市有資産の売却・貸付を行うことと合わせて民間活用についても検討していきます。

## 8. 基本方針

### 方針1

#### 公共建築物の総量の削減

- ✓ 今後30年間で、延床総量を20%削減します。
- ✓ 新規の公共建築物の建設を抑制します。ただし、新規整備が必要な場合は以降の計画で総量が削減されるよう調整します。

### 方針2

#### 公共建築物の再編・最適化

- ✓ 施設の評価を実施し、将来の笠間市に合った集約・複合化などの再編シナリオを策定します。
- ✓ 社会状況の変化や市民ニーズに対応して、施設の機能を見直します。
- ✓ 施設の再配置が必要な場合は、都市機能の集約すべきエリアとの整合を図りながら配置の方針を検討します。

#### 質と量の最適化

品質(老朽化に伴う機能低下等の状況等)、供給(人口・交通量等の利用状況等)、財務(将来の維持更新費の低減、効率的、合理的な発注方式等)の3つの視点から検討を進め、質と量の最適化に取り組みます。

#### 公共施設等の将来の方向性確立

公共施設等全体をすべての市民の大切な資産と捉え、市民と問題意識を共有しながら、一部の利便や利益に偏ることなく、公共施設等の将来の方向性の確立に向けて取り

### 基本理念

#### 公共施設等の総合的なマネジメント

常に公共施設等の全体像を把握し、市民の安全や生活を守る観点から、公共建築物やインフラ施設の類型による性格の違いを考慮しながら、住民サービスと財政負担のバランスに配慮し、総合的なマネジメントに取り組みます。

### 方針3

#### 将来更新費用の縮減

- ✓ 公共施設等の長寿命化を可能な限り図ると共に、計画的、効率的な改修・更新を推進し、将来更新費用を縮減します。
- ✓ 民間活力(PFI、PPP、民間委託等)の活用を検討し、改修・更新・維持管理に係るコストを縮減します。

### 方針4

#### 既存ストックを効率的かつ有効に保全・活用

- ✓ 官民の連携、民間提案の活用を積極的に推進します。
- ✓ 低未利用地や余剰施設は、貸付による利活用や売却を積極的に促進します。

### 方針5

#### 公共施設等のマネジメント体制を確立

- ✓ 全庁的に取り組むための体制を確立します。
- ✓ 公共建築物とインフラ施設の個別の長寿命化計画を策定し、推進します。